

## 待ち望みの時

1. こヨ主見し  
2. こせみよず  
3. ろフずやけ  
4. ろフずやけ  
5. ろフずやけ

みダか地<sub>ち</sub>き  
のびらのこ  
世<sub>よ</sub>デ火のこ  
にのうろ  
あごごふを  
れととも  
ばききはて

た主な<sub>ま</sub>待  
えにやだち  
しえみめの  
のらをぐぞ  
びば耐<sub>た</sub>みみ  
つれえをし  
づしぬの  
けもきぞち  
んのぬみは

くひくた  
るさるえと  
しししえ  
みきみの  
のまのびた  
夜<sub>よ</sub>な夜つき  
明<sub>あ</sub>び去<sub>さ</sub>つし  
けのりはふ  
なとなるく  
き<sub>き</sub>ばの

なたき芽<sub>め</sub>お  
がえぼと  
主しうえず  
のののれ  
もびあとを  
とつさき知  
にづにをる  
あけ覚<sub>さ</sub>まら  
ぬ<sub>ぬ</sub>めん<sub>めん</sub>つん

わたしの犠牲の最後の一滴が地に落ちつつある。わたしが世を去るべき時は近づいた。わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、信仰を守りとおした。「英欽定訳」今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりでなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下

6

よ き  
 予期せざりしこと  
 のぞ  
 望まざることをも  
 あた  
 主は与えたまえど  
 ただ主を待ち望まん。

7

とお み  
 いかに遠く見ゆとも  
 ことば と  
 み言葉は遂げられん  
 さ のち  
 遠き日の去りし後  
 の はな さ  
 野の花の咲くごと。

8

よ  
 待ち望みの夜はなお  
 おも  
 重くひろがるとも  
 よろこ ゆうき  
 喜びと勇氣もて  
 め あ め ざ  
 目当てをば目指さん。

9

きよ くる  
 清めの苦しき去り  
 みいだ  
 なれもまた見出さん  
 にすがた  
 主の似姿のなれに  
 つく  
 創られしことをば。

10

また やす  
 全き安らぎをもて  
 つづ  
 待ちわび続けばや。  
 な な  
 待ち望みは名の無き  
 たまもの  
 神の賜物なり。